

平成 27 年度 学校評価実施報告書

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>生徒の実情やニーズに合わせた多様な学習機会を生徒に提供すると共に、国際理解、英語教育の充実を図る。</p>	<p>○国際人材育成研究推進校として、引き続き海外修学旅行、国際理解講演会、留学生交流会、英語のスピーチフェスティバル、スピーキングテスト等の行事を推進し、国際交流に関する様々な機会を生徒に提供することによって、異文化理解や英語の運用能力の向上を目指す。</p> <p>○学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎学力の定着のみならず、さらに発展的な思考力を身につけることができるような授業を展開する。</p> <p>○小集団・習熟度別学習等を実施し、きめの細かい学習指導の機会を増やすことで、生徒に確かな学力を身に付けさせる。</p>	<p>○国際社会で必要とされる資質を高めるための学習プログラムを作成、実践し生徒の理解が深まったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流・異文化理解の十分な機会を生徒に提供することができたか。 ・生徒が意欲的に行事に参加し、積極的に英語を話す活動に取り組んだか。 <p>○授業教材を工夫し、具体的な課題を与え、繰り返し取り組むことで基礎学力の定着を図ることができたか。さらに、発問の工夫や授業内容の精選などにより、思考力・判断力・表現力を身に付けさせる授業が展開できたか。</p> <p>○小集団・習熟度別授業の成果を検証し、生徒の学力、意欲に沿った授業が展開できたか。また、国際理解教育と英語教育の取組を充実させることができたか。</p>	<p>○国際人材研究推進校としての3年間の取組を振り返ると、グループワークやグループ発表などにおいて、生徒の成長をはっきりと感ずることができ、取組の成果が認められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解講演会のアンケートの内容を検証すると、海外における諸問題やそれに対する係わり方について、生徒の理解が深まっている。 ・東海大学留学生との2度の交流会を比較したとき、2回目の参加人数が増え、役割分担なども生徒達が率先して行うようになった。また、スピーチフェスティバル、修学旅行についての英語での感想文等、英語で表現する活動に前向きに取り組む姿勢が随所に見られる。 <p>○授業にICT機器を活用することで、生徒自らが考えて、話し合い、発言してさらに問題提起する授業が実践できた。</p> <p>○授業内容だけでなく、課題などを工夫することで、家庭学習時間の微増に繋げることができた。</p> <p>○数学、英語において、習熟度別学習や小集団学習を実施しており、基礎学力の定着を図ることができた。また発展的な内容についても学習することで、生徒一人ひとりの進路に応じた授業を実践することができた。</p>	<p>○国際人としての資質の向上を目指して、学習プログラムを「総合的な学習の時間」で行ってきたが、時間数が不足し、生徒に考える時間を十分には与えられなかった。したがって、他の教科でも、国際人として資質を押さえながら授業をすすめるなどの工夫が必要である。</p> <p>○国際交流の機会を、なるべく多くの生徒にどのように提供していくかが一つの課題である。また、交流を依頼する外国人の方を、毎年安定して確保していくことも課題である。</p> <p>○ICT機材の不足や、授業実践がまだ一部の科目や教員にとどまっているので、学校全体としてより多くの教科・教員に広げていけるよう取り組んでいく必要がある。</p> <p>○今後も引き続き、生徒自身が必要と感じて自ら学ぶ時間を確保できるよう指導方法を検討していく。</p> <p>○生徒の進路実現に向けて、新たな教育課程の検討や、小集団学習、習熟度別学習の実施科目の検討を進めていく。また、年間指導計画に基づき、授業時間の確保にも努める。</p>	<p>(保護者)</p> <p>○伊志田高校としての取組内容を、「保護者」を含めた「対外的」に積極的にアピールする方法を再検討し、取組を進めることが必要ではないか。認知度が高くなることで、生徒達のやる気も増進すると思う。</p> <p>○授業時数の確保が難しいとは思いますが、各教科を縦だけではなく横断しての授業編成を検討し、現在の内容にプラスされた内容を目指して欲しい。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>○国際交流行事などすばらしい取組を実践している。ホームページや地元情報誌にその内容を掲載するなどさらなる情報発信をお願いしたい。</p> <p>○国際理解教育についてはさらに機会を増やし、継続してほしい。</p> <p>○各教科のつながりを持ち、横断的な授業編成について検討して欲しい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>○国際理解教育学習プログラムにより、国際交流・異文化理解の機会を生徒に提供することができた。</p> <p>○国際理解教育の推進により生徒の学習意欲、行事への取組に変容が見られた。</p> <p>○授業教材・教育機器の工夫により、基礎学力の定着を図ることができた。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>○ICT 機器を効果的に活用するための設備の充実に向けた検討を行い、改善につなげる。</p> <p>○国際交流・異文化理解の機会を継続して確保し、さらに主体的な生徒の活動につなげるよう検討し、改善を進める。</p>

<p>きめ細かな生徒指導と教育相談体制の充実を図り、いのちを大切にすることを育む教育を推進する。</p>	<p>○いじめ防止の観点から生徒の日常生活の様子を十分に観察し、未然防止を図る。 ○日常の保健指導や各種講演会を通していのちの大切さを理解させるとともに、スクールカウンセラー等と協力し、教育相談の充実を図る。</p>	<p>○いじめ防止に向けた取組を行い、未然防止を図ることができたか。 ○講演会を実施して振り返りを行い、いのちを大切にすることが育まれたか。</p>	<p>○いじめ事案に対して、職員相互の情報共有を図り組織的な対応を取ることができた。 ○ソーシャルワーカーである講師の豊富な相談事例にふれ、危険ドラッグの現状と対策について理解を深め、自他のいのちを大切にすることが育まれた。</p>	<p>○スクールカウンセラー、教育相談コーディネーターとのコンセンサスと連携をさらに図り、対応がスムーズに進むようにする。 ・いじめに対しては全校的な取組を徹底させる。 ○児童虐待防止講演会の継続的な実施を伊勢原市に働きかける。 ・今後とも地域と連携した各種講演会を積極的に開催していきたい。</p>	<p>(保護者) ○日ごろから「挨拶」を返してくれる等、生徒の態度はよいものがあり、伊志田高校の校風としてとてもよい伝統となっている。今後も引き継いでいけるような、生徒指導をお願いしたい。 (学校評議員) ○児童虐待防止講演会については大切なことだと思っている。地域で取り組み、高校生を啓発することはありがたい。子育ては家庭のみでなく、学校も関わっていくことが大切であり、今後も継続して欲しい。</p>	<p>(学校評価) ○担当グループ、学年、管理職との連携を通して、生徒指導及び教育相談に対応することができた。 (改善方策等) ○授業、行事、教科の指導内容を検証し、いのちを大切にすることをさらに進める。</p>
<p>授業の工夫・改善を進めると共に、生徒の基礎学力を保証した上で、言語活動を充実させ学習意欲を向上させる。</p>	<p>○教員相互の授業の見学や研究授業を実施して、教材や授業手立て等の共有を図り、生徒自らが学ぶ授業の展開と学習意欲の向上を図る。 ○総合的な学習の時間で調べた事項の提示、話し合い、発表などの言語活動を中心とした学習を展開する。 ○スタディサポートや GTEC（英語コミュニケーション力総合テスト）を定着させ、その活用に向けたさらなる工夫・研究を進める。</p>	<p>○研究授業の結果や、生徒による授業評価の結果分析により明らかになった課題に対し検討し、生徒が興味・関心を抱き、自学自習の態度を身に付けることができたか。 ○話し合いや発表などの活動に生徒が積極的に取り組んだか。 ○各到達度試験の結果を検討し、生徒にきめ細かな指導ができ、学習意欲が向上したか。</p>	<p>○公開授業及び公開研究授業の実施により各教科で授業研究を実施し情報の共有と課題の把握に努めた。 ○公開授業・研究会を通して教員の意識改善と情報の共有が図れた。 ○スタディサポートや GTEC の結果を踏まえて、学習に向かう態度や目標を具体的に提示することができ、生徒の学習意欲を高めた。 ○総合的な学習の時間でのプロジェクト学習を通して、生徒に自分の意見を伝えあう機会を設け、教員の支援のもとで考えを明確化し、より良い表現を探すことで、思考力・表現力を育成することができた。</p>	<p>○生徒に確かな学力を付けるために授業研究を継続的に取り組む。教科としての授業研究・改善を更に進める。 ○GTEC 実施のより効果的な時期を検討し、英検受験者増と英語力向上に繋げたい。 ・スタディサポート等の結果を基に生徒や保護者の状況に合わせて、より効果的な時期に学習相談等を行う。 ○家庭学習の習慣をつけさせるための手だてを、すべての教科で教科研究会の内容を踏まえて検討する。 ○総合的な学習の時間で公共的な視点も含めたプロジェクト学習を開発し、キャリア教育の充実を図っていく。</p>	<p>(保護者) ○GTEC の活用はとてもよいものといえる。在学中に英検等の資格取得を一層進めていくようにお願いしたい。 ○家庭における日常の学習への取り組みが行えるように、学校側のサポート体制を拡充して欲しい。 (学校評議員) ○GTEC については効果が出ているのではないかと感じている。 ○家庭学習が基本と考える。塾へ通う生徒は多いが家庭学習の習慣を定着させるための取組を今後も続けていただきたい。</p>	<p>(学校評価) ○公開授業、研究授業、授業研究会等を通して教員の意識改善と情報の共有が図れ、課題の把握ができた。 (改善方策等) ○外部テストの活用、実施及び学習相談のより効果的な時期を検討し、実践する。 ○生徒の家庭学習定着のための取組を検討し、効果的な家庭学習の方法を組織的に研究する。</p>
<p>キャリア教育を充実させると共に部活動を活性化させ、自らの進路や生き方についての意識を高める。</p>	<p>○キャリア教育の精査を行い、進路や生き方についての生徒の意識を高めるための指導法の研究を進める。 ○進路希望実現に向けたキャリアプランニング能力の育成と個別の進路支援の充実を図る。 ○部活動等の活性化はもとより活動場所の衛生管理に努めることを積極的に推進し、地域貢献活動等の体験を通して自主的に考え行動できる生徒の育成を図る</p>	<p>○進路や生き方についての生徒の意識の変容が見られたか。 ○進路実現のための情報収集や体験学習等に参加し、生徒の進路目標が明確になったか。 ○部活動の加入率や実績等が上がったか。各生徒会行事が活発に行われたか。 ・地域のボランティア活動等に参加し交流を深めることができたか。</p>	<p>○第1・2学年での大学模擬授業や第2学年での分野別説明会を通じて生徒が進路指導実現に向けての意欲を高めることができた。 ○部活動の加入率が、若干であるが、昨年度よりさらに伸びた。また、各部の活動も活発であり実績も伸びてきている。 ○生徒の主体性を伸ばし、活動をさらに活発にするために、体育祭の来年度実施に向け、生徒会がリーダーシップをとった。</p>	<p>○来年度の体育館の改修工事に伴い、各種の進路講演会や説明会の実施に工夫をしなければならない。 ○部活動等において生徒たちの自主的・主体的な活動をさらに促していきたい。 ○今後とも文化祭などの行事や部活動で生徒の活躍する場面を意識して設定する。</p>	<p>(保護者) ○文化祭の取組として、「ミスコン」をなくす等、生徒が主体的に動けるような内容に変更されたことは評価できるものと思う。今後も生徒が主体的に取り組めるという視点での取組をお願いしたい。 (学校評議員) ○体育祭の実施及び分教室との連携は評価できる。盛り上がる行事を期待したい。</p>	<p>(学校評価) ○生徒の実態に合わせた進路説明会等の実施により生徒の意欲を喚起し、進路に対する自覚を促すことができた ○部活動等における生徒の自主的・主体的な活動が増え、昨年度より部活動の加入率が伸びた。 (改善方策等) ○さらに生徒が主体的な活動を行うことができる取組を検討し、改善につなげる。</p>

<p>保護者や地域、分教室等と協働・連携した教育活動を展開すると共に、開かれた学校づくりを進める。</p>	<p>○広報活動を検証し、適切な時期で適切な内容についてホームページ、学校説明会及び中学校訪問等を通して情報発信をし、地域・保護者の信頼を得る。</p> <p>○民間企業等との連携を推進し、地域の教育力を積極的に活用する。</p> <p>○校内美化活動を分教室と連携して実施する。</p>	<p>○本校の教育活動・入学者選抜制度等の情報を、中学校・保護者へ発信するための積極的な取組ができたか。また、充実した資料(学校案内・学校説明会資料)を提供することができたか。</p> <p>・学校説明会等の開催が円滑で、かつ本校の特色を効果的に発信できたか。</p> <p>○連携し、教育活動に取り入れることより、生徒の視野は広まったか。</p> <p>○適切な清掃分担が立案され、校内の美化が図れたか。</p>	<p>○ホームページをタイムリーに更新し、学校説明会・学校訪問での確かな情報を発信した。</p> <p>○学校説明会を3回、オープンスクールを1回開き、外国人留学生に学校の様子を説明してもらうなどの工夫を凝らし、学校の特色や入学選抜制度等について中学校や保護者に伝えた。</p> <p>○昨年度から引き続き、伊勢原市職員による生徒の人権研修を実施した。</p> <p>・日産テクニカルセンターと連携し、今年度は14人もの外国人従業員による英語の授業を行った。</p> <p>○ごみの分別がおろそかになっていることがあったので、分別の徹底を図った。</p>	<p>○次年度に向けて時期と使用会場の精査をし、正確な情報を発信する。</p> <p>○来年度は体育館が使用できないので、オープンスクールや部活動の紹介等の在り方について検討していく必要がある。</p> <p>○修学旅行の事前・事後学習をより深めたものにしていく。</p> <p>○日産テクニカルセンターや東海大学との連携事業を継続的かつ発展的に行っていく。</p>	<p>(保護者)</p> <p>○体育館改修工事が次年度行われるため、授業・行事等に影響が出ないよう十分な準備をお願いしたい。</p> <p>○ホームページの更新をさらにすすめていって欲しい。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>○気持ちよくあいさつをしてくれる生徒が多い。</p> <p>○地域から見て、生徒の通学路マナーについては問題ない状況である。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>○学校説明会、国際交流・異文化理解行事等の教育活動を積極的に情報発信できた。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>○本校の教育活動を効果的に発信する取組を継続し研究する。</p>
<p>学校運営の改善に向けた取組を一層推進すると共に、学校防災体制の確立に努め、信頼される学校づくりを進める。</p>	<p>○学校運営の改善そのものに関する内容の企画会議を開催する。</p> <p>○緊急時の正確な情報発信をさらに進めるために、情報伝達の精査と運用方法の改善を図り、生徒・保護者の安心安全を確保する。</p> <p>○防災訓練を通して生徒が災害から自らの生命を守るために必要な能力や態度を育成すると共に施設・設備等の点検と整備を行い非常用物資の備蓄管理を進める。</p>	<p>○学校運営の改善に対して具体的な案が提示されたか。</p> <p>○緊急連絡体制がさらに改善され、正確な情報が迅速かつ確実に生徒・保護者に伝達され、混乱無く生徒・保護者の安心安全に寄与できたか。</p> <p>○防災計画・防災マニュアルの充実が図れたか。また、災害時に即した防災訓練が計画・立案され実施されたか。</p> <p>・施設・設備等の点検と非常用物資の備蓄管理を計画的に進められたか。</p>	<p>○学校運営に限定した企画会議を開催し、改善に向けてのいくつかの案が提示された。</p> <p>○県の指導に基づき防災計画・防災マニュアルの見直し・改訂を作成した。</p> <p>・本年度は災害時の集団下校班の確認や、分教室と合同で教員の誘導に従った避難訓練を実施した。</p>	<p>○今後も継続的な検討を重ね、より円滑な学校運営へと繋げていく。</p> <p>○防災備蓄食料は、乾パンの他・カロリーメイト・栄養羹を引き続き備蓄し食物アレルギーを持つ生徒に対応した。</p> <p>○今後も防災対策を検討し、限りある予算のなかで必要物品を整備していきたい。</p>	<p>(学校評議員)</p> <p>○自らの命を守るという点から、生徒による防災備蓄倉庫の確認は大切だと思う。今後も継続して欲しい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>○学校運営に関する企画会議を実施し、改善に向けた検討ができた。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>○学校運営に関して検討する機会をさらに設け、改善につなげる。</p>
<p>教育目標・教育方針・中長期的な方針など</p> <p>○生徒の意欲と主体性を高め、問題解決のための思考力・判断力・表現力等を養う教育を推進し生徒一人ひとりの進路希望の実現を支援する。</p> <p>○幅広い人間力と自分の考えを表現し行動する力を身に付け、国際社会で積極的に活躍することができる能力を養う教育を推進する。</p> <p>○心身を鍛え、豊かな人間性と望ましい社会性を涵養する。</p> <p>○地域社会や保護者との連携を推進した教育活動を展開し、開かれた学校づくりを進める。</p> <p>○安全・安心な教育環境の整備と教育活動の充実・改善に弛まぬ努力を重ね、信頼される学校づくりを進める。</p>						